

次号予告

特集 クラウドとアナリティクス

- クラウド・コンピューティング—動向と今後の展望—……………浦本直彦 (日本アイ・ビー・エム)
クラウドの信頼性評価のためのモデル化手法……………町田文雄 (日本電気)
最適化分野におけるクラウド技術の利用……………藤澤克樹 (中央大学), 他
Hadoop を活用した大規模データ解析の動向と今後の展望
……………古関 聡, 佐藤直人 (日本アイ・ビー・エム)
MapReduce システムのネットワーク負荷分析……………森 達哉 (N T T), 他

編集後記

●最近、将棋ソフトの強さがニュースになり、近い将来トッププロに勝つのではないとも言われているようです。そのような将棋ソフトも、黎明期はルール通りに動かすことから大変だったものが、その後ソフトの激しい開発競争を経て今日に至っているようですが、最適化技術の急速な進展もこれに類似する点が多いのではないのでしょうか。コンピュータとアルゴリズムの進歩の相乗効果で進展していることや、並列化の話題なども共通しています。

●また、ソフトの凄さは実際に目の当たりにしないと実感できない、という点も共通しているように思います。本号の特集「最適化技術の深化と広がり」にはそのような考えが背景にあり、本特集によって最適化技術にご関心いただき、ソフトを触ってみよう、見てみ

よう、あるいは最適化技術を応用してみようと思っただけならば幸いです。

●もちろん、ソフトに触れるにはルールを知る必要があるわけですが、将棋と最適化問題のどちらが容易でしょうか。将棋は子供でも理解できますし、最適化問題は種々多様なので単純な比較は難しいですが(無理に比較する必要はありませんが)、この点も最適化技術の「広がり」につながる重要なポイントであることは間違いないでしょう。

●最適化ソフトは使いやすくなっているのです、大学の講義でも教えやすくなりました。ただ、一昔前にはなかなか解けなかった問題を瞬時に解いてしまい、かといって、講義では大きい問題を扱うことが難しく、最適化技術の有り難みを伝えるのに苦労するという贅々な悩みに直面しています。(藤江哲也)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

関西支部編集委員長 加藤直樹 (京都大学)

関西支部編集委員 梅谷俊治 (大阪大学), 檀 寛成 (関西大学), 中尾芳隆 (キャノン IT ソリューションズ(株)), 羽室行信 (関西学院大学), 藤江哲也 (兵庫県立大学), 毛利進太郎 (神戸学院大学), 山下信雄 (京都大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 23 年 5 月号 第 56 卷 第 5 号 通巻 605 号

代表者 数 土 文 夫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧 本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970 円 (本体 924 円) 年間予約購読料 11,040 円 (税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ